

第19回 東京外環トンネル施工等検討委員会 議事概要

■ 第19回検討委員会：令和元年6月13日

【議題】

- ・ 東名側本線シールド工事の掘進状況について
- ・ シールド工事の掘進方法について
- ・ 大泉Fランプシールド工事の安全対策について

【議事概要】

- ・ 世田谷区喜多見・成城地区の本線シールド工事の掘進状況について報告があり、本線シールド工事に起因した周辺環境に影響を及ぼすような地下水位の変動や地盤変位等はなく、安全に工事を進めていることを確認した。
掘進中の地上部の振動レベルは、掘進停止中と比較し変動が見られるものの、日常生活等に適用する規制基準より小さい数値であることから、周辺環境に影響を及ぼすような振動はなかったことを確認した。
安心を確保するため、引き続き、情報収集に努め、モニタリングを行うとともに、細心の注意を払い安全に工事を進めていくことを確認した。
- ・ 北多摩層以外のシールド工事の掘進に向けて、掘進時に使用する添加材の室内試験結果について報告があり、添加材を調整することにより安全かつ地上への漏気を抑制し掘進できると考えられることを確認した。安心を確保するため、大泉JCT工事ヤード内において、掘進時に使用する添加材や圧力を調整しながら空気の漏出を抑制する掘進方法について確認した上で、今後の工事を進めることを確認した。
- ・ 大泉JCTから発進するFランプシールド工事について、施工時の安全対策等に関する報告があり、その内容を確認した。

以上